

1. 山本 祐平

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 基金の債券運用と今後の財政運営について</p>	<p>本市の基金での債権運用については、新聞等で報道され、先の市長選挙の争点の一つにもなった。市民の関心が非常に高まっており、なぜこのような状況になったのか、原因究明と説明が必要である。また過大規模校問題をはじめ、未だ課題が多く、厳しい財政状況が続く本市においては、基金運用を含めた財政運営をどうしていくかが重要である。それらを踏まえ、以下について伺う。</p> <p>① 平成30年ごろから基金での債券運用の方針が変わっているが、その内容ときっかけ</p> <p>② 債券運用の方針変更以降、現在に至るまで監査委員はどのような指摘をしてきたか</p> <p>③ 令和6年10月25日に実施された資金管理運用会議にて「今年度の実施計画の調整結果によると、中期的には現金不足を回避して、現金保有目標の約15億円を確保する見込みとなりました。」との発言があるが、調整された実施事業の詳細</p> <p>④ 今後の基金を含めた財政運用</p>	

2. 戸田 進一

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 学校の過密解消や教育環境の改善について	<p>福間南小学校や福間中学校等の過密の状態が続いており、子どもたちは窮屈な学校生活を強いられている。それにもかかわらず、教育委員会は、過密解消・緩和に効果が少ないと思われる「福間南小学校は校区再編しない。福間中学校は、一部地域のみを校区選択制にする」旨の素案をとりまとめ、保護者説明会を開催した。以下について見解を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保護者説明会の結果及び教育委員会としてのとらえ方 ② 過密解消のための今後のスケジュール ③ 校区外通学制度の改善・見直し ④ 学校規模と体力の関係の検証 ⑤ 教職員の労働条件・処遇改善 （労働安全衛生委員会、年間の授業時数等） ⑥ 特別教室不足などの緊急の課題解決 	
2. 必要な介護サービスが受けられる介護制度について	<p>住み慣れた地域で安心して住み続けられることなどを掲げた「福津市第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の現状と課題について伺う。</p>	
3. 憩いの場としての公園施設の充実について	<p>市内各所に公園が設置されているが、地域ごとに偏りがある。今後の公園の配置計画や公園内の施設充実・改善について伺う。</p>	

3. 中村 清隆

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 社会資本総合整備計画（東福間駅周辺地区都市再生整備計画）について	<p>社会資本総合整備計画（東福間駅周辺地区都市再生整備計画）は令和4年度から令和8年度の計画となっている。令和6年度に計画期間の中間地点を折り返したが、今後の目標達成に向けた取り組み等について、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 社会資本総合整備計画は、数回変更が行われているが、その経緯の中での変更点 ② 都市再生整備計画の目標 ③ 都市再生整備計画の整備方針 ④ 都市再生整備計画の進捗 ⑤ 今後の課題 ⑥ 令和8年度までに計画を達成できるのか 	
2. 小学校の学習環境整備について	<p>児童数増加に伴い教室が確保されているが、普通教室のみの確保で、そのために特別教室を減らしている現状がある。そこで以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 特別教室の無い学習環境をどのように捉えているのか ② 環境改善に向けた取り組み ③ いつまでにこの現況を改善できるのか 	
3. 市中央公民館内の各団体の事務所の賃料について	<p>本市において、多大なる貢献をされている団体が中央公民館内に事務所を構えているが、急な賃料の値上げの話に困っていると聞いている。経緯と今後について伺う。</p>	
4. 市内体育館の空調設備について	<p>近隣自治体では、体育館への空調設備の設置に向けた取り組みが行われているが、本市の考えは。</p>	

4. 大山 隆之

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. ひきこもり家庭への対応について	<p>ひきこもりの人数が、2023年時点で全国146万人と内閣府から推計が出されている。福岡県でも4万人以上と発表されているが、本市のひきこもり対策について以下の点を問う。</p> <p>① 直近の市内のひきこもりの人数 ② 年間のひきこもりからの社会復帰人数 ③ 本市のひきこもり家庭への対応</p>	
2. 障がい者及び福祉施設との関りについて	<p>障害者雇用促進法が年々改定されており、法人内の雇用比率が上昇している。これに伴い、就労継続支援・就労移行支援等の需要が上がっていくことが予想される。これについて、以下の点を問う。</p> <p>① 本市の障がい者就労支援事業の雇用への取り組み ② 本市に就労継続支援施設が揃っていない理由 ③ 市長公約に起業家・企業誘致とあったが、福祉関係もその中に入っているのか</p>	

5. 井手口 忠信

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 安全・安心な道路インフラの整備について	<p>全国各地でインフラの老朽化が原因とされる事故が後を絶たない。安全・安心な市民生活を奪いかねないインフラ災害を、未然に防ぐ対策が重要である。事前防災の観点からも、行政には適切な対応が求められている。そこで本市のインフラ整備について、以下のとおり伺う。</p> <p>①埼玉県で発生した道路陥没事故の報道をうけ、本市でも同様の事故が発生しないのかと心配する声が市民から寄せられている。市の見解は。</p> <p>②道路に関する地域からの改善要望書や市民等からの要望について、年間どの程度の件数があり、どの程度実施、実現できているのか。</p> <p>③道路付属物とされる道路照明灯や道路案内標識、公園灯の点検について、どのような作業がおこなわれているのか。</p>	
2. 市民に寄り添う行政サービスの推進について	<p>死亡手続きを1つの窓口で完結できる専用窓口の設置は、遺族の負担を軽減し、市民サービスの向上となる取り組みであると考えます。市の見解は。</p>	

6. 中村 恵輔

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 市長の市政運営のスタンスについて	市長の市政運営に対する基本的なスタンスを確認するため、前市政との違いや今後の方針について伺う。	
2. 福間南小学校の教育環境について	福間南小の校区再編の是非を今年度中にまとめ、実行に移す方針だが、それでは過密解消の効果が十分とは言えない。今後の教育環境改善の道筋について伺う。	

7. 石田 まなみ

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. がん教育をはじめとする、心と体の健康増進や、命の大切さを伝える取り組みについて</p>	<p>現在、がんは日本人の死因のトップを占める病気であり、重要な健康課題の一つであるが、医学の急速な進歩で、早期発見、適切な治療により治る病気になってきている。</p> <p>本市では集団検診などのがん検診への呼びかけや、ここ数年は21歳を迎える女性に対して子宮頸がん検診のクーポンを配布して啓発活動を行っている。</p> <p>また、文部科学省は、学校教育活動における健康教育の一環として「がん教育」や、生命の尊さを学ぶための「生命（いのち）の安全教育」を推進している。教育の中に取り入れることにより、子どもたちは、がんの正しい知識や、生きること、命の大切さについて学ぶことができる。</p> <p>このことを踏まえて以下について問う。</p> <p>① 子宮頸がん予防や早期発見に対する市の考えと啓発 ② 子宮頸がん検診のクーポンの利用状況と今後 ③ 学校現場でのがん教育の実施状況 ④ 生命（いのち）の安全教育の実施状況 ⑤ 現在、市内3つの中学校で実施している妊娠・出産についての学習の実施状況 ⑥ 民間団体との学校での教育に関する連携</p>	

8. 岩下 豊

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 東福間駅周辺地域にぎわい再生計画の到達点について</p>	<p>令和2年4月に、地域の代表や地権者、学識経験者等で構成された「東福間駅周辺地域にぎわい再生計画策定に関する協議会」から、市に「東福間駅周辺地域にぎわい再生計画」が提案されて、5年が経過しようとしている。現時点の市の評価と今後について、以下の点を伺う。</p> <p>① 同計画の5. 東福間地域のにぎわい再生の方針に対する現時点の市の評価</p> <p>② 昨年11月23日の意見交換会で市民から出された意見に対する市の受け止め方</p> <p>③ 今後同計画を進めるにあたり市民参加をどのように考えているか</p>	
<p>2. 福津市教育委員会請願処理規則について</p>	<p>令和6年8月に福津市教育委員会請願処理規則が改正され、8月22日と9月26日の教育委員会定例会では、教育委員会は市民から出された請願の一部について、採択・不採択を決定しないという判断をしている。</p> <p>令和6年12月定例会の一般質問で、所管外の請願は採択・不採択を判断しないという答弁がされたが、請願はいずれも新設小学校建設に関わる内容であり、教育委員会の所管と考える。なぜ新設小学校建設に関わる請願が所管外になるのか、見解を伺う。</p>	

9. 豆田 優子

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 教育の機会を均等に享受するための取り組みについて</p>	<p>教育基本法第4条（教育の機会均等）には、「すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。」とあり、どの子でも学ぶ機会・環境を保障されている。</p> <p>そこで、次のことについて伺う。</p> <p>① 福間南小学校については校区再編をしないという素案が示され、意見交換会が開催されている。参加者からの意見をどう捉えたのか。</p> <p>② 福間中学校については、区域を指定して選択制とするという素案が示された。現在、建設されている増築校舎は、校区再編を前提としたものという説明がされていたが、そのこととの整合性は。</p> <p>③ 市内の過大規模校の小・中学校では、過大規模校であるがために、児童・生徒・保護者・教職員の負担が増えている。負担への対処は。</p>	
<p>2. 小学校の新設とまちづくりについて</p>	<p>新設小学校建設は、まちづくりに深く関わっている。建設を進めていくうえで、重要なのは市民の理解だと考える。市民の理解を得るための方策は。</p>	

10. 榎本 博

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 東福間駅周辺地区都市再生整備計画について	<p>令和6年11月23日に神興郷づくり交流センターで東福間駅周辺地区再生整備計画の説明会が開催された。参加した市民からは、駅に隣接した東部処理場の撤去・整備や交通網の充実、老朽化した駅舎(市の管理部分)の改修が必要との要望が出された。説明会で出された要望を受けて、以下の点について、どのような検討を行ったのか、また今後の計画について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 東部処理場の撤去・整備 ② 住民が買物等に使いやすい交通網の充実 ③ 老朽化した駅舎の改修 ④ 南北連絡通路の取り組み ⑤ 東福間駅周辺地域にぎわい再生計画全体の今後 	
2. 津屋崎地区の観光による地域拠点の活性化について	<p>(1) 夕陽館は令和8年4月再開に向けて準備が進められている。調査・工事等の概要報告は夏ごろとの事だが、現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 大峰山キャンプ場貸与先事業者募集については、令和7年1月31日から3月4日まで公募をおこない、基本協定及び契約締結を4月下旬に予定として進められている。そこで、以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公募してきた事業者数 ② 契約期間を5年間とした理由 ③ 貸付料を月額22,990円とした算出根拠 <p>(3) 外国人旅行者が全国的にも増大している。福津市における令和5～6年度の外国人旅行者数及び消費動向と消費額について伺う。また今後の観光施策の課題と取り組みについて伺う。</p>	

11. 中村 晶代

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 空き家や所有者不明土地などの解消に向けた取り組みについて	近年、人口減少や高齢化などを背景に、空き家や所有者不明土地の増加が社会問題になっており、全国の空き家の総数は過去最多の900万戸に上っている。国は問題の解消に向けた対策の1つとして、不動産登記法の改正をおこない、令和6年4月から相続登記が義務化した。市の空き家対策および所有者不明土地の現状と課題、取り組みについて伺う。	
2. 低所得世帯の住まいの確保と支援について	市民が、さまざまな事情で新たな住まいを探したい場合、市内に低所得世帯が確保できる住まいが見つからなかったり、不便な場所だったりすることが多い。住み慣れた場所に住み続けるために、住まいの確保と支援について、市の現状と取り組みを伺う。	
3. 市営住宅の建て替え計画について	令和6年3月定例会の一般質問では、一部の老朽化した市営住宅の団地単位での建て替えを検討し、次期市営住宅長寿命化計画を策定していくとの答弁だった。現在の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。	

12. 尾島 武弘

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 第3次福津市行財政改革大綱実施計画について</p>	<p>第3次福津市行財政改革大綱実施計画の個別実施計画は、31の取組項目があり、令和3年度から令和7年度の実施期間である。令和3～5年度まで3年間を通しての実績が、「取り組みを行ったが年次目標を達成できなかった」「取り組みを行えなかった」ものが10項目あった。そのうち6項目について、今年度の実施状況と令和7年度の実施方針、また、各年度の総削減目標額と実績額を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 大規模公園の使用料の見直し ② 公共施設の使用料、利用料の見直し ③ 中央公民館の機能の再定義・再配置 ④ 公衆便所の維持管理費の削減 ⑤ 本木川自然公園（ほたるの里）の民営化 ⑥ 法人市民税の税率改正 	
<p>2. 農業基盤の強化について</p>	<p>専業農家や兼業農家の高齢化に伴い、農地の流動化が進む可能性が高まっている。しかし、地域の担い手としての後継者等の農業従事者の減少によって、農業地域の秩序ある土地利用が難しくなっている。今後、本市の基幹産業である農業を守っていくためには農業基盤の強化が必要不可欠であり、市の果たす役割は更に重要になると考える。そこで以下のことについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域計画策定の結果 ② 基盤整備事業の現状と今後の方針 ③ 農業用ため池・水路の浚渫と管理体制 ④ 地域農業用施設の新規設置と老朽施設の補修状況 ⑤ 新規就農者に対して市が主体的に行う取り組みと、関係機関との連携と役割分担 	